

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 健康長寿に配慮した災害に強いエコ住宅

グループの名称 沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会

直近採択グループ番号 ---

(グループ代表者)

代表者名 東舟道 博保 代表者印

代表者所属先 株式会社 みらいホーム

代表者所在地 沖縄県島尻郡八重瀬町宜次700番地

代表者電話番号 098-996-2981

(グループ事務局)

事務局事業者名 パナソニックリビング九州 株式会社 沖縄支店

事務局担当者名 知念 武一郎 印

事務局郵便番号 901-2131

事務局所在地 沖縄県浦添市牧港5丁目4番3号

事務局電話番号 098-878-6363

事務局FAX 098-878-0818

事務局担当者E-mail chinen.takeichiro@jp.panasonic.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		80	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	80	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	20	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		20	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		10	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			3	戸			
申請が未確定(上限100万円)		10	戸				
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	5棟				
			2000㎡				
		申請が未確定	10棟				
			4000㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	1. 採択時点で見込み物件を含め、該当物件を有する構成員に1棟ずつ配分する。 2. 採択枠に残余のある場合は、確定物件を有する構成員にもう1棟ずつ配分する。 ※上記にて棟数が不足する際は、抽選とする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 健康長寿に配慮した災害に強いエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄地区
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・許容応力度計算により耐震等級3、耐風等級2を満たします。 ・劣化対策、特に防蟻、結露、雨じまいの対策を強化します。 防蟻: D1材、通気工法、薬剤処理の組み合わせ 防露: 断熱材、特に床下への使用 雨じまい: 水密性能W5を満たすサッシの採用 ・夏季の室内に於ける熱中症等の健康被害をなくするため、VI地域の外皮性能0.87を満たす断熱性能とします。 サッシの仕様は、複層ガラスとします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・自然な湿度調整を考慮した木造住宅とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建設地の町並みや景観ガイドライン等に基づき、地域に調和したデザインとします。	◎
④①～③の背景	・沖縄地区は夏季の高温による熱中症等の健康被害が多く発生しており、対策が求められています。 ・台風の襲来による災害が毎年発生しており、耐震性能・耐風性能の向上が求められています。 ・春から夏にかけて、高温・多湿が続く為、結露対策が求められます。 ・複数のシロアリが存在し、羽を持つものもいる為、破風等の防蟻処理が求められています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	補助金対象以外の物件についても、下記住宅の建設を積極的に推し進める ・長期優良住宅 2017年度 目標 50% 2020年度 目標:100% ・BELS評価取得 2017年度 目標 50% 2020年度 目標:100%	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造部に用いる木材は、3.5寸角とします。 ・集成材についてはJAS認証品とします。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 工業製品については標準採用メーカーを定め、コストの削減を図ります。 内装・下地材はF☆を使用し、シックハウス症候群に対策を講じます。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様を作成します。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局で取りまとめ、調達コストの削減をします。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 専用発注書を作成し、事務合理化を行います。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心となり、成功事例等の情報共有をします。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の成功事例を集約し構成員に情報提供を行います。 ・年間スケジュールを作成し、確実に実施致します。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メーカーの施工マニュアルを整え、それに沿った施工を行います。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟構造躯体完成時に自主検査に加え、グループ事務局の有資格者による検査を行います。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 許容応力度計算により耐震性能、耐風性能を明確化し、その結果を御施主様へ提示します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・ファイナンシャルプランナーと提携し希望者には資金計画提案によるサポートを行います。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 健康長寿に配慮した災害に強いエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄地区
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・外部情報サービス機関を活用し、建築主も確認出来る様になります。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・パナソニック㈱のリビングベルを活用します。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・リビングベルのサービス機能活用により建築主も含め随時確認できるようにしています。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・共通の維持管理計画書に基づき、点検、メンテナンスを行います。 ・地震、台風等災害発生時には随時点検を行います。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画に基づく、定期点検時に必要があれば補修します。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・10年目に、瑕疵保険機関の点検サービスを受ける。 ・外部情報サービスの活用により、御施主様自身も確認が可能にしています。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お手入れセミナー等を定期的実施し、日常の清掃とお手入れ点検についてご説明します。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・イベント開催時に木工教室や床の傷補修等DIY体験会を実施する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が企画し、補助金や税制優遇の紹介を含め、リフォーム相談会を実施します。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担保保険法人等の協力により、インスペクションの講習会を開催します。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人の点検サービスを紹介し、活用を推奨します。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員をバックアップビルダーとした完成保証制度を施主様に紹介し、活用をお勧めします。 ・仕様標準化、維持保全計画、住宅履歴管理の共通化により、引継ぎを容易にします。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅瑕疵担保保険法人に協力頂き、過去事例を学ぶ研修会を開催します。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・長期優良住宅の建設拡大を積極的に推進します。 維持管理された高品質な住宅ストックの拡大と循環を実現する事により中小工務店の長期的な経営安定を図る為長期優良住宅建設の拡大に取り組みます。 長期優良住宅化率 2017年度 50% 2020年度 100%	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・未経験工務店については事務局が個別対応を行い、長期優良住宅建設に協力します。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工マニュアルに沿った施工をします。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で定期的に施工研修会を開催し、施工状況についての情報を把握します。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・年度初めに構成員毎に事業計画を策定、それに基づき需給計画を策定します。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・3年後、長期優良住宅100%の目標にむけ、設計工務会で技術力向上を図る。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計工務会にて合理化成功事例を構成員で共有します。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 15	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局にて地域毎の開催日程を把握、情報発信を行い、構成員に参加を促します。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 健康長寿に配慮した災害に強いエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄地区	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会	(結成年) 2017年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	1. 地域材は国内、国外の合法木材とします。 2. 地域材を主要構造部の過半に使用します。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局とプレカット事業者で情報交換を密にし、材料確保に努める。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が、複数のプレカット事業者から情報を収集し、コストの平準化を図ります。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が3ヶ月後の物件状況を把握し、プレカット事業者と情報共有します。	◎
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 315枚 105棟(申請戸数)/2×6畳)	○
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 158枚	○
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建設地の条例や景観ガイドライン等に基づき、地域の街並みに配慮した設計を行う。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3世代住宅については高齢者に配慮し、和室を設置するよう提案を行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組		
	平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 健康長寿に配慮した災害に強いエコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 沖縄地区
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 沖縄で木造の長期優良住宅を普及させる会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型共通ルール】

UA値 0.87、η値 3.2を満たす住宅性能とする。

【高度省エネ型(認定低炭素住宅)】

- ・省エネ設備機器の採用により認定低炭素住宅を目指します。
- ・一次エネルギー消費量計算結果を元に光熱費シミュレーションを行い、省エネ性能を分かりやすく理解できるように工夫します。
- ・お客様への省エネ住宅提案力の向上を図り、低炭素住宅の普及に努めます。
- ・BEI値 0.9、木造+節湯型水栓をクリアします。

【性能向上計画認定住宅】

- ・高性能機器の導入により、BEI値 0.9以下とする。

【高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)】

- ・VI地域の断熱基準を満たします。
- ・間取りプランの工夫や、高効率省エネ設備機器の採用により、一次エネルギーを引き下げます。
- ・その結果、太陽光発電に頼りすぎない、快適で健康に暮らせるゼロエネルギー住宅を目指します。
- ・一次エネルギー消費量計算結果を元に光熱費シミュレーションを行い、省エネ性能を分かりやすく理解できるように工夫します。
- ・お客様への省エネ住宅提案力の向上を図り、ゼロエネルギー住宅の普及に努めます。

【優良建築物】

- ・BELS評価の取得を行います。